

『**盈たして 進む**』『**思いを込めて！「6年生を送る会」**』

朝の小鳥のさえずりと日中の暖かさに心和らぐ季節となりました。景色も春の装いへと変わっています。3月に入り、どの学年も1年間のまとめに取り組みながら、「卒業」という大イベントに向けて力を注いでいます。もちろん卒業式の主役は6年生ですが、在校生の協力がなければ、式の魅力が半減してしまいます。そのことは、在校生も十分分かっていて、とにかく「6年生のために」と準備を進めています。その一つが、『6年生を送る会』でした。

3月2日（木）に『6年生を送る会』がありました。これは、6年生に感謝の気持ちを伝えようと、児童会が企画する行事です。各学級は卒業式の練習と並行しながら、この会へ向けて準備を進めました。それぞれの出し物を紹介します。

1年生は、「6年生はヒーロー！」という内容で、6年生のかっこいい姿を紹介しました。一緒に遊んでくれただけでなく、困った時や悲しい時など、1年間いろいろなところでお世話してくれた6年生ですから、かっこいい姿は次から次へと浮かんできて、まさしくヒーローそのものだったでしょう。不思議だけどかわいいヒーローポーズもよかったです。



2年生は、上手な鍵盤ハーモニカの伴奏と歌に合わせて、手作りのメダルをプレゼントしました。スキップがかわいらしかったですね。直前に欠席者が増え、準備もままならなかったと思いますが、一人一人が役割をしっかりとこなし、成長を感じさせました。6年生の素敵などころをたくさん教えてくれた、とても優しい2年生でした。

3・4年生は、「〇〇なのは君だー！」と6年生のいいところや特技などをみんなの前で紹介してくれました。出し物の内容が分かりやすいように小演劇も混ぜながら進めた3・4年生。表現力豊かな子ども達の特徴がよく表れていました。自分の出番をドキドキしながら待っている6年生の表情がおもしろかったです。

5年生は、6年生へ学校クイズを出題しました。6年生なら分かるだろうと作った問題でしたが、意外にも大苦戦。用意していた「不正解なら罰ゲーム」の罠に次々とかかっていきました。6年生のすごさはここからでした。「歌ってください！」や「しり文字をどうぞ！」など、大勢の前で突然渡された要求にもかかわらず、自分なりに考え、対応していく6年生。普段の大人しさとは違った「心の強さ」に会場にいる全ての人が感心したことでしょう。



6年生からのお返しの出し物は、大喜利、漫才、合奏でした。「この会のお礼は楽しく盛り上げること」と団結した6年生は、さすがの貫禄で会場を一つにします。持ち味を出し切ってやり遂げた素晴らしい姿でした。

そして、全校で歌った「ひまわりの約束」の歌詞にある『ひまわりのような、まっすぐなやさしさとぬくもり』を6年生から受け継いでいくことを願い、幕を閉じました。